SUBARU TECNICA INTERNATIONAL

HEAD OFFICE : 3-9-6 OHSAWA MITAKA TOKYO JAPAN
PHONE : 0422-33-7848 FACSIMILE : 0422-33-7844

ストラットタワーバーFt取扱要領書

・このたびは、STI製品をお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。
・本書には本製品を取付ける要領と取扱について記載してあります。
・ご使用の前にお読み頂き、正しい取扱い方法により安全にご使用くださるようお願いいたします。
・また、この要領書はグローブボックス等に大切に保管し、不明な点はその都度この要領書をお読み下さい。

取扱店(特約店)の方へ
本書は、商品の取扱い上の注意についても記載してありますので、必ずお客様にお渡し下さい。
また、重要なポイントについては、⚠を表示してありますので必ずお守り下さい。

1. 品番及び適用車種

品番	適応車種
ST2050066000	レガシィ(BE,BH)全車 レガシィ(BD,BG)全車

2. 取付け、取扱い上の注意

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いを行いますと、人が損害を負う可能性が有る内容、または製品等の物的被害に結びつく可能性がある内容を示します。

⚠注意
・本製品を取付けた事により、直接的または間接的に発生しうる車両等の不具合に対しまして、富士重工業㈱のクレーム保証の対象から外れますのでご注意願います。 ・本製品を取付けた事による直接的または間接的に発生した商品および車両等の不具合に対する保証はいたしかねますのでご了承下さい。 ・本製品の取付けは専門の技術や知識を必要とするものがありますので、スバル特約店の資格認定工場にご依頼下さい。 ・作業の際は必ず整備解説書(富士重工業㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。 ・規定トルク以上または、以下で締め付けると、ボルト・ナットが破損もしくは、ゆるみ等が発生することがありますので、規定トルクを厳守して下さい。 ・取付け後、100km程度走行時もしくは定期点検時に取付けボルト・ナットが締まっていることを確認して下さい。 ・走行中に異常が発生した場合は、速やかに徐行し、整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けますと、車両の破損や事故の原因となる場合があります。 ・走行直後はエンジンの熱で高温となる場合がありますでのご注意下さい。 ・バーに上下から大きな力を加えないで下さい。変形する恐れがあります。 ・本来の用途以外に使用しないで下さい。 ・部品の加工・改造は絶対に行わないで下さい。 ・本製品は弊社の指定する適応車種以外に使用しないで下さい。 ・本製品は予告なく変更する場合があります。 ・お客様ご本人または第三者の方が本製品の誤った取付けや取扱いを行い、これにより生じた故障その他の不具合によって受けた損害につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

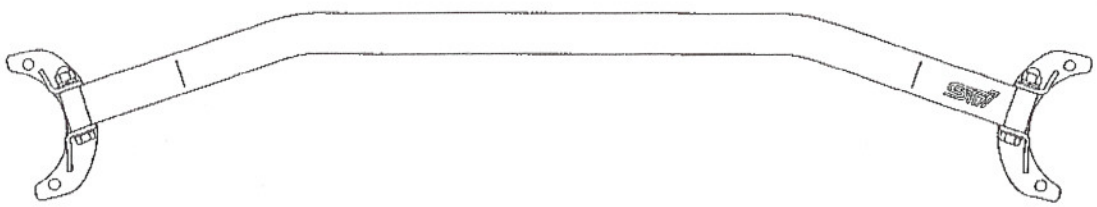
取扱店(特約店)用

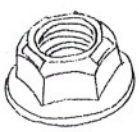
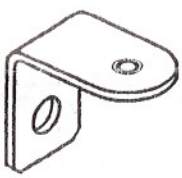
ストラットタワーバーFt取付要領書

本書は、ストラットタワーバーFtの取付け要領、注意事項について解説してあります。取付け作業の前に、本書を必ずお読み頂き、正しい取付けを行って下さい。
取付け後は、本書も必ずお客様にお渡し下さい。

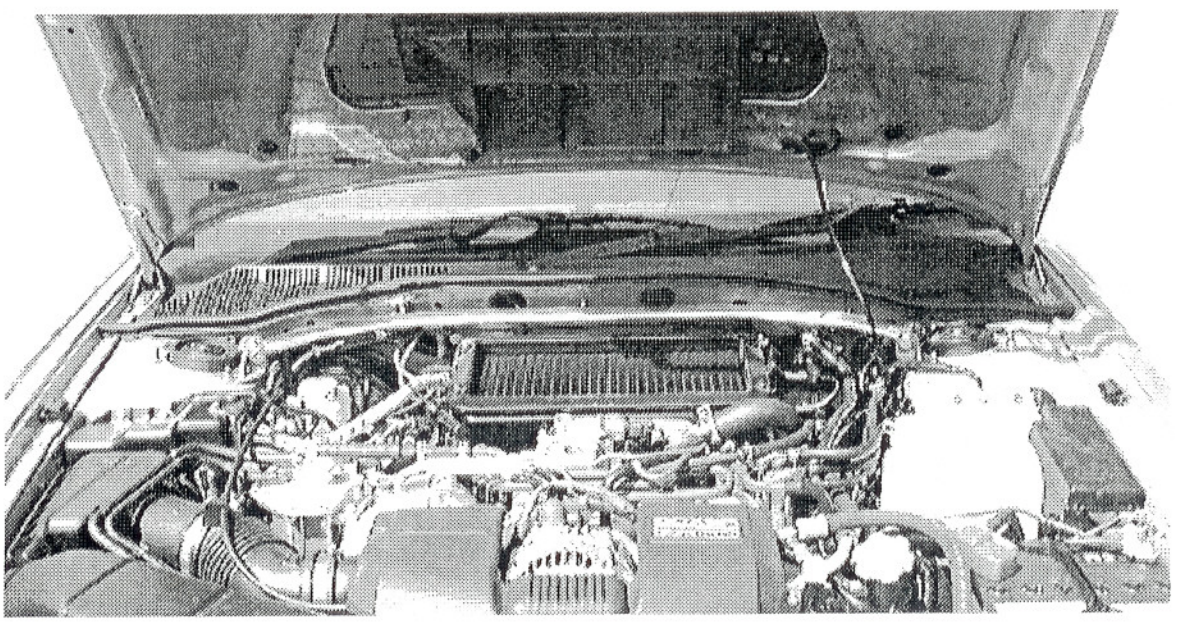
1. 構成部品

①ストラットタワーバーFtアッセンブリ　1セット



②セルフロックナット(M8) スバル純正部品 部品番号 902350013	③ブラケット	④スクリュー(M6)	⑤取扱要領書・取扱説明書
			
4個	1個	2本	1部

2. 取付完成図(参考)



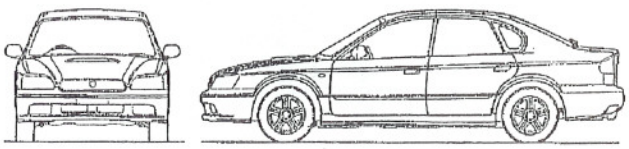
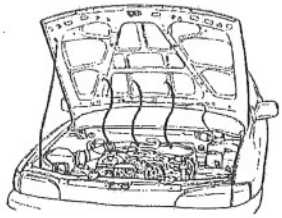
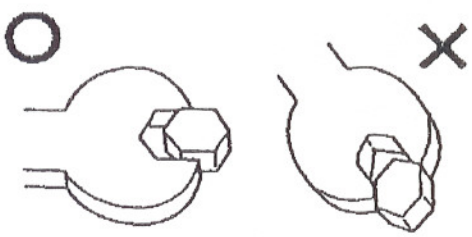
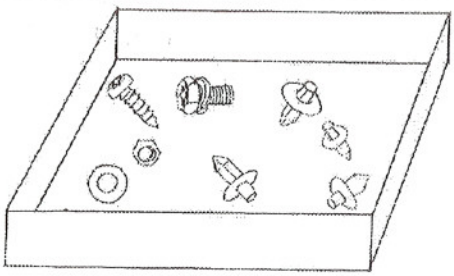
3. 取付け上の注意事項及び準備作業

・作業を始める前に以下事項をお読み頂き、正しい取付けを行って下さい。

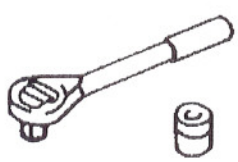
・取付け作業を安全かつ確実に行う為に以下の事項を必ずお守り下さい。

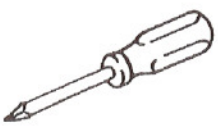
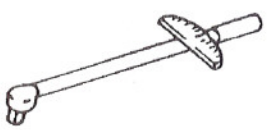
・記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては責任を負いかねる場合がございます。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いを行いますと、人が損害を負う可能性が有る内容、または製品等の物的被害に結びつく可能性がある内容を示します。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td>車両は水平で安全な場所に止め、確実にサイドブレーキをかけてから作業を行って下さい。作業中に不用意に車両が動くと危険です。
 
⚠ 作業は平らな場所で！</td><td>エンジンは止め、十分冷えてから作業を行って下さい。冷える前に作業をするとやけどする危険があります。
また、エンジンがかかった状態で作業をする回転部分でけがをする場合があるので絶対におやめ下さい。
 
⚠ やけどに注意</td></tr>
<tr><td>ボルト・ナット等の締め付けは寸法にあった工具を使用して下さい。また、締め付けトルク指示のある部位は規定トルクで締め付けて下さい。ボルトナットを痛めたり、緩んで外れたりして危険です。
 
⚠正しい工具と正しい作業！</td><td>作業の為に取外しした部品は紛失しないように注意して保管して下さい。
 
整理・整頓！</td></tr>
<tr><td colspan="2">※車両部分の脱着にあたっては、傷をつけたり破損したりしないように十分に注意して下さい。</td></tr>
</table>

4. 使用工具等

<table>
<tr><td>12, 17mmサイズの
ラチェットレンチ
  </td><td>メガネレンチ(参考)

スパナ(参考)
 </td><td>プラスドライバー
  </td><td>トルクレンチ
  </td></tr>
</table>

5．取付要領

①バキューム配管の移設［ＢＥ，ＢＨ系のみの作業］

タワーバーとの干渉を避けるため、バキューム配管を移設します。

(1)バキューム配管とブラケットを止めているボルト３個所を外して下さい。

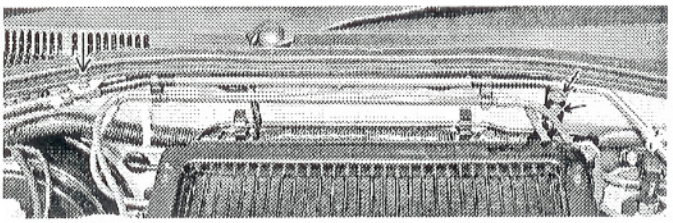
(2)右側は付属のブラッケットとスクリューで図のように配管をしっかり組付けて下さい。
ブラケットのネジ穴が車体の止め穴に合うようにパイプに対して90度回転させ、付属のスクリューでしっかりと組付けて下さい。

(3)左側はクリップを図の①から②に止め位置変更して下さい。(①のボルトは不要です。)

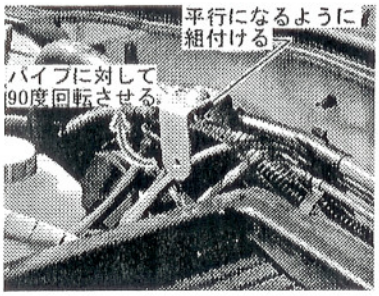
締付トルク：　７．５±2.0(N·m)
［７５．０±20(kg·cm)］

⚠注意：配管を継ぐゴムホースの抜け、つぶれ等が無いことを確認して下さい。ブレーキの利きが悪くなり、エンジンが不調になります。

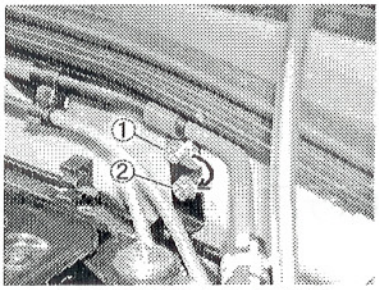
使用工具：１０ｍｍサイズのメガネレンチまたは、ラチェットレンチ、トルクレンチ、プラスドライバー



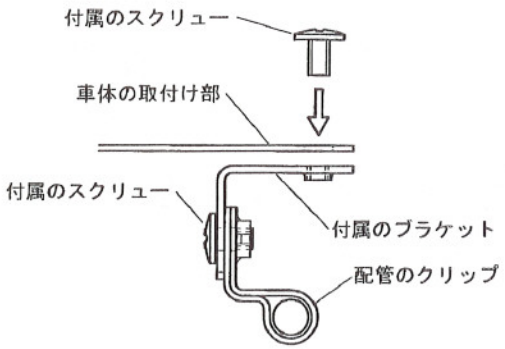
矢印部（右１個所、左２個所）のボルトを外す。



右側のブラケット取付け



左側の配管止め点移動

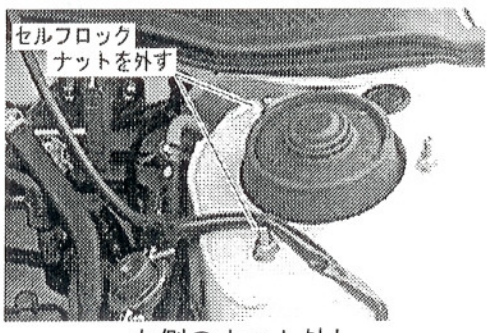


右側ブラケット側面詳細（９０度回転後）

②ナット取外し

(1)アッパーマウント取付けナットのうち車両中心側を左右各2個ずつ取外して下さい。

使用工具：１２ｍｍサイズのメガネレンチまたは、ラチェットレンチ等



左側のナット外し

③タワーバーの取付け

(1)バーとブラケットを固定しているボルトを緩めて下さい。(手で動く程度)

(2)ブラケットをアッパーマウントに合わせて下さい。
⚠注意:周辺のハーネス、ホース類等がブラケットの下にはさまれていないことを確認して下さい。

(3)付属の新しいセルフロックナット４個でブラケットを固定して下さい。(数回に分けて均等に規定トルクで締付けて下さい)

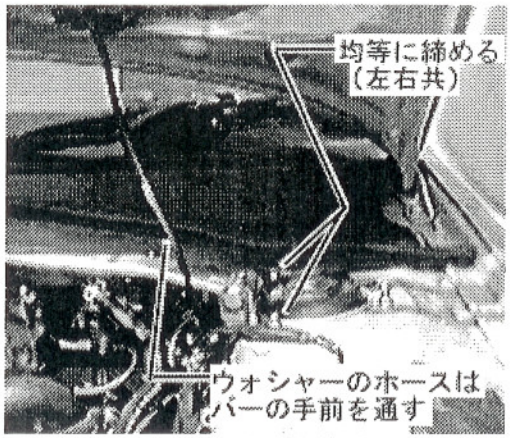
締付トルク：　１９．６±5.9(N･m)
［２．０±0.6(kg･m)］

⚠注意：古いセルフロックナットを使用するとネジの破損、緩み等の原因となるので再使用しないで下さい。

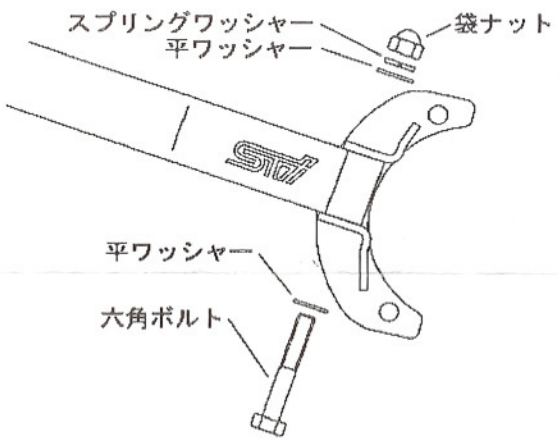
(4)ブラケットを固定するボルト２本を規定トルクで締付けて下さい。

締付トルク：　２４．５±6.8(N･m)
［２．５±0.7(kg･m)］

使用工具:12，17mmサイズのラチェットレンチ、17mmのメガネレンチ、トルクレンチ



タワーバー組付け
※取付けづらい場合はブラケットを一度外して下さい。



ブラケット取付け構成図（参考）

④取付け後の確認
(1)エンジンルームに工具、不要な部品の置き忘れが無いか、確認してください。
⚠注意：確認を怠るとボンネットを変形させたり、走行時にエンジン回転部に巻き込む危険性があります。
(2)エンジンをかけ、バーとエンジンルーム内の部品（特にハーネス・ホース類等）が干渉していないか確認してください。必要に応じて各部を緩め、調整してください。
⚠注意：確認を怠ると異音の発生、断線など故障の原因となる恐れがあります。
(3)ボンネットフードをゆっくりと降し、バーと干渉しないこと、バートボンネットの間にハーネス、ホース類が挟まれいないことを確認してください。
⚠注意：確認を怠るとボンネットを変形させる恐れがあります。